2023年度東京ビジネスデザインアワード
テーマ企業応募のご案内

TOKYO DESIGN
BUSINESS DESIGN AWARD

主催　東京都

企画・運営　公益財団法人日本デザイン振興会 東京ビジネスデザインアワード事務局

1 東京ビジネスデザインアワードについて

2 応募および審査について

3 応募・受賞メリットについて

1　東京ビジネスデザインアワードについて

東京ビジネスデザインアワードについて

東京ビジネスデザインアワードは、都内中小企業と、優れた課題解決力・提案力を併せ持つデザイナーとの協働による、新しいブランドやビジネスモデルの開発を目的とした、
企業参加型のデザイン・事業提案コンペティションです。
2012年度より開催し、今年度で12年目です。

東京都が主催し、日本デザイン振興会が企画・運営をおこなう、

中小企業のデザイン導入支援事業

東京都内のものづくり中小企業が持つ「技術」「素材」をテーマに、

全国のデザイナーから新規用途開発を軸としたデザイン提案を募集

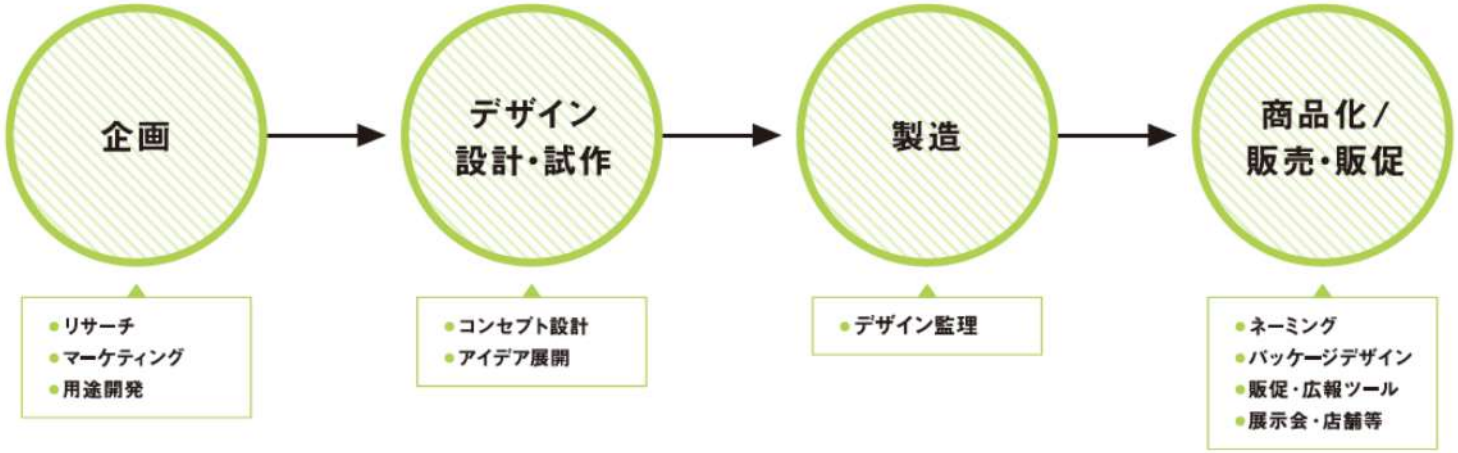
高度な技術を持つ中小企業と、提案力のある優れたデザイナーとを

マッチングし、新規ビジネスの実現化に向けて、サポートをおこなう

ビジネスをデザインする

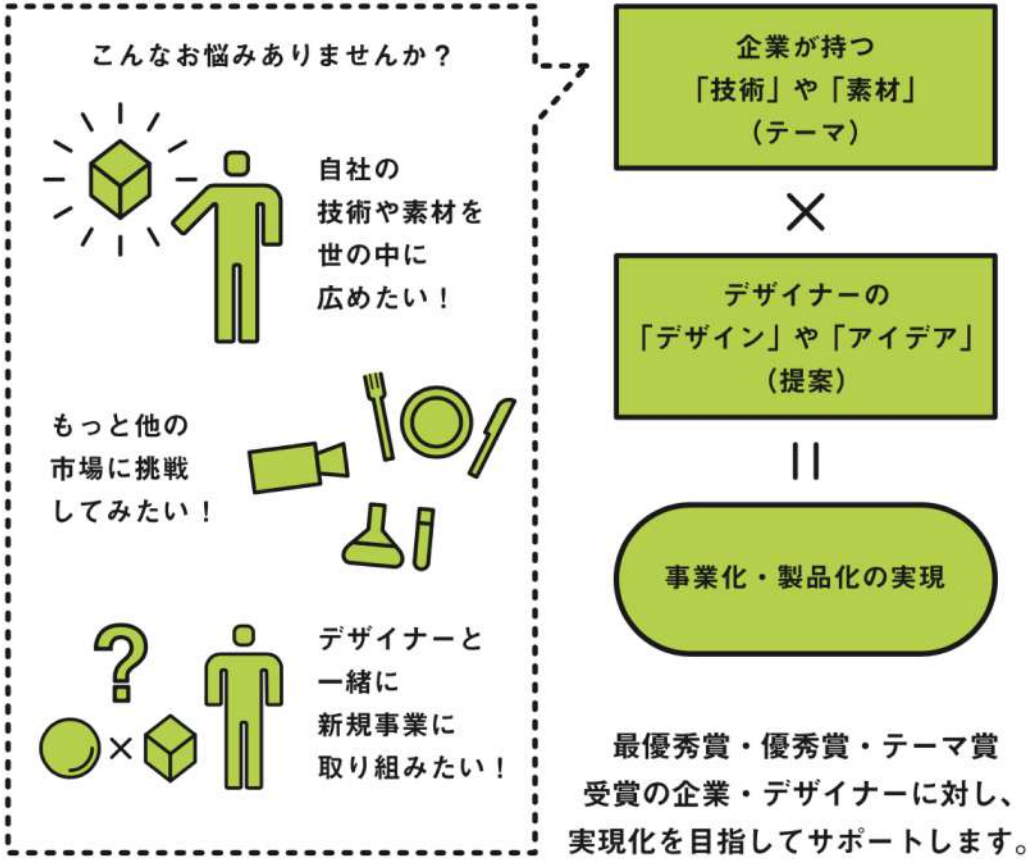
デザインは“姿かたち”や“色”の提案だけでなく、課題の解決や、
用途開発など企画の段階からターゲットの設定まで広く関わります。

［商品開発の流れ］



東京ビジネスデザインアワードでは、この「企画」の段階から
デザイナーに提案してもらう、デザインコンペティションです。

デザイナーからの「デザインの提案」とは



東京ビジネスデザインアワードが考える デザイナーからの「デザインの提案」とは

アワードでは、特定の商品カテゴリーを想定した商品開発ではなく、テーマ企業が活用を希望する『技術』や『素材』の提示にとどめています。

あらゆる可能性を検討し、
テーマ企業がすでに持つ技術・素材など、
さまざまな経営資産を洞察し、
活用方法を見極め、
同時に企業のビジョンを理解し、

「そのビジョンをどうビジネスの中で可視化するか？」を思考し、提案していただきます。

中小企業のビジネス加速の極意はデザインにあり！

悩みを抱えていてもどうしたらいいかわからない、どこに頼んだらいいのかわからない、
あるいは、デザイナーがどういうことをするのか知らない、デザイナーに頼むのはハードルが高いのでは、
と思われている方も多いと思います。
また、最初から自社だけで新規事業や商品開発の企画を立てていくのは不安も多いはず。

そんな時、このアワードをご活用ください。

東京ビジネスデザインアワードでは、
審査を通じて自社の経営資源や強みなど現状分析を行った上で、デザイナーとマッチング。
事業規模や今後のビジョンに応じ、デザイナーの提案を通して、
つくれるもの、つくりたいもの、つくるべきものを検討し、
企業の新たな成長・発展に向けた伴走型の支援を行います。

そして、アワードのプロセスや支援期間が終了した時には、
ビジネスデザインの思考などが必ず身についているはずですので、
既存事業や今後の事業拡大のために活かしていくことができます。

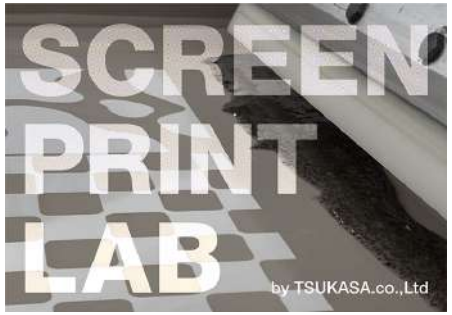
2022年度 結果概要　https://www.tokyo-design.ne.jp/archive/2022/

▼ 最優秀賞

企業のテーマ：
半田付け不要の基板ジョイント導通技術
【有限会社ケイ・ピー・ディ（葛飾区）】

デザイナーからの提案：
プリント基板の新しい使い方を提案する
サウンドプロダクト

▼ 優秀賞



企業のテーマ：
大型シルクスクリーン印刷による
膜厚を出した
平滑な大判フィルムの作成技術
【司産業株式会社（板橋区）】

デザイナーからの提案：
スクリーン印刷による新たな魅力の開発

企業のテーマ：
貼箱製造で培った技術及び加工設備
【株式会社泰清紙器製作所（練馬区）】

デザイナーからの提案：
貼箱製造の技術と設備を活用した
箱だからできる玩具の提案

2 応募および審査について

2023年度のながれ（予定）

TOKYO DESIGN
BUSINESS DESIGN AWARD

企業からの
テーマ審査

デザイナーからの
デザイン提案審査

テーマ募集 ▶ テーマ審査 ▶ テーマ発表＋デザイン提案募集 ▶ デザイン提案一次審査 ▶ デザイン提案二次審査 ▶ テーマと提案のマッチング決定（テーマ賞） ▶ 提案最終審査（公開）／最優秀賞＋優秀賞発表・表彰 ▶ 実現化に向けてテーマ賞への継続サポート ▶ 商品化・事業化 ▶ グッドデザイン賞一次審査免除

2023年
4月13日～
6月22日

7月
上旬

9月
上旬

11月

2024年
1月上旬

2月上旬

～2025年
3月31日

応募資格　　次の条件をすべて満たす都内の中小企業者です。

(1) 都内に主たる事業所を有し事業を営む中小企業または個人事業主であること。

(2) デザインを導入した新事業実現に意欲があること。

(3) 次に掲げる事由を満たすこと。

①テーマ内容を公開できること。

②デザイナー向け説明会及びデザイナーによる企業訪問への対応と、デザイナー等からの事業提案に係る二次審査及び最終審査(公開)への参加が可能であること。

(4)次に掲げる除外事由に該当しないもの。

①過去に国・都道府県・区市町村等が実施する事業に関して、不正等の事故を起こしたことがあるもの。

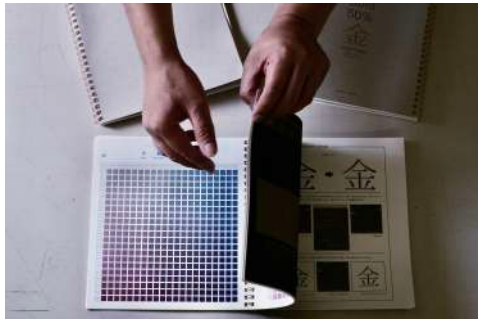
②「東京都暴力団排除条例」に規定する暴力団関係者又は「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律」第２条に規定する風俗関連業、ギャンブル業、賭博等、支援の対象として社会通念上適切でないと判断される業態を営むもの。

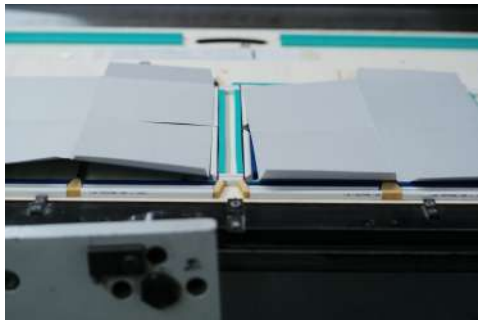
③連鎖販売取引、ネガティブ・オプション（送り付け商法）、催眠商法、霊感商法など公的支援先として適切でないと判断する業態を営むもの。

※ 募集要項を必ずご確認ください。

募集内容（テーマ）

都内中小企業が保有する、技術や特殊な素材などが対象です。
※複数応募可。応募点数の制限はありません。
※応募しようとしている技術・素材等が既に実用化されている必要があります。
※一般消費者向けの最終製品は対象になりません。





費用

応募に係る費用は無料です。
ただし、以下のステップごとに実費がかかる場合があります。

テーマ企業審査	応募資料の郵送や面談等の交通費
テーマ選定企業後	デザイナー向け説明会開催に伴う資料配送、 会場までの交通費
デザイン提案二次審査以降	面談やセミナー開催のため、会場までの交通費など
最終提案審査会まで	デザイナーとチームを組み、 提案の試作品等を作る際の実費、交通費など

応募の手続きと留意点

応募受付期間

2023年4月13日(木) ～ 6月22日(木)【当日消印有効】

応募方法

募集要項と応募用紙を公式Webサイトからダウンロードし、
必要事項を記入及び必要書類を同封のうえ、郵便・宅配便等により事務局まで送付してください。(当日消印有効)
https://www.tokyo-design.ne.jp/company/#application_method

提出書類

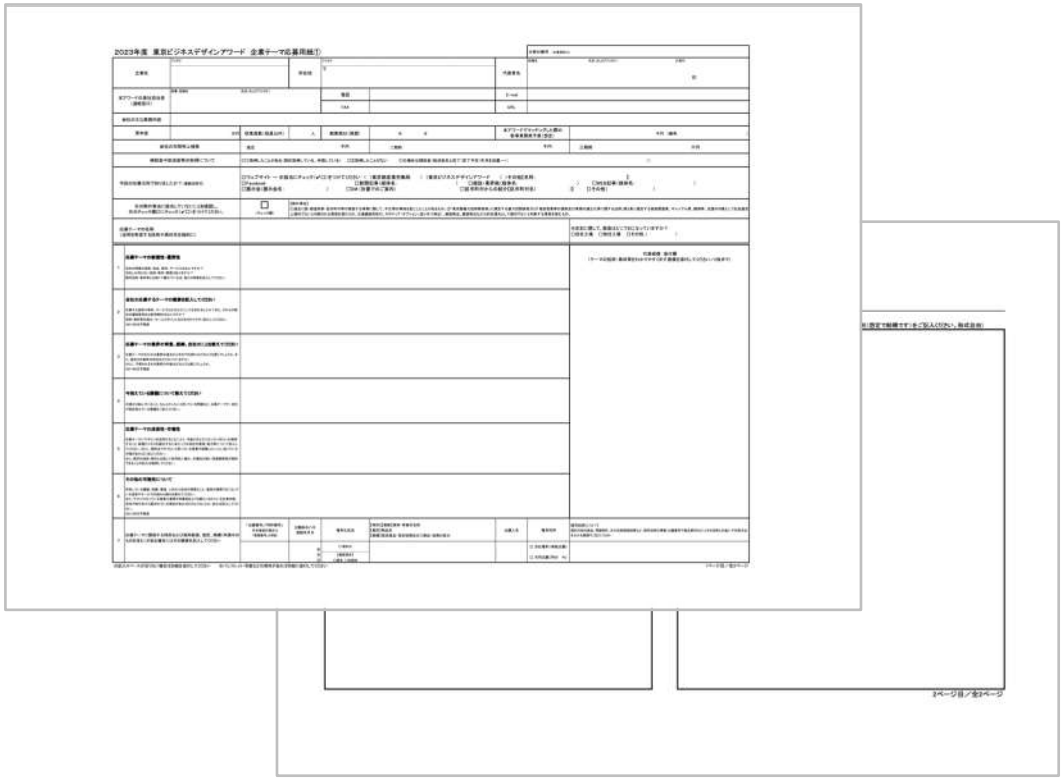
① 応募用紙　各ページ1部（全2ページ）
② 決算書（直近）のうち「損益計算書」及び「賃借対照表」のコピー　各１部

※ 提出された書類等は返却いたしません。また、他の書類を提出していただくことがあります。
※ 技術や素材に関して、審査時に確認して欲しい補足資料があれば同封してください。

応募の手続きと留意点：

提出書類

① 応募用紙



応募用紙は空欄がないよう必要事項をすべて記入してください

出力時の注意事項：A3サイズ、各ページ1部（全2ページ）

② 決算書（直近）のうち「損益計算書」及び「賃借対照表」のコピー　各１部

※ 提出された書類等は返却いたしません。
また、他の書類を提出していただくことがあります。

※ 技術や素材に関して、審査時に確認して欲しい補足資料があれば同封してください。

「企業の方へ」ページに
応募に関してのよくある質問も公開しております。
合わせてご確認ください。

オンライン（Zoom）にて個別相談会も受付中

応募手続きを進めていただいている方や応募で迷われている方向けにオンラインでご相談をお受けいたします。

2023年度 審査委員会

審査委員長
山田 遊

バイヤー

株式会社メソッド 代表取締役

秋山 かおり

プロダクトデザイナー

STUDIO BYCOLOR

谷口 靖太郎

デザインエンジニア、ディレクター

株式会社Takram

日髙 一樹

特定訴訟代理人・弁理士 /
デザインストラテジスト

日高国際特許事務所 所長

坊垣 佳奈

株式会社マクアケ　共同創業者 / 取締役

宮崎 晃吉

建築家

株式会社HAGISO 代表取締役

審査委員会は、企業の製品開発やビジネスモデル創出支援等に豊富な実績を持つデザイナーや有識者で構成されています。

テーマ募集における「審査の基準」

① 実現性	■ 新規ビジネスを創出する意欲・能力はあるか。
② 成長性	■ デザインの活用により新たなビジネスの創出が期待できるか。
③ 新規性	■ 従来にない技術的要素があり、新規性に富んでいるか。 ■ 業界等において既に普及しているものではないか。
④ 優秀性	■ 性能 ■ 品質等において従来のものと比較して優秀であるか。
⑤ 市場性	■ 市場性の高い製品 ■ 用途開発が期待できるものであるか。
⑥ 財務状況	■ 応募資料に書かれている会社の年間売上推移 ■ 決算書(直近)のうち「損益計算書」及び「貸借対照表」にて確認

東京ビジネスデザインアワードのながれ（予定）

TOKYO DESIGN
BUSINESS DESIGN AWARD

企業からの
テーマ審査

デザイナーからの
デザイン提案審査

テーマ募集 ▶ テーマ審査 ▶ テーマ発表＋デザイン提案募集 ▶ デザイン提案一次審査 ▶ デザイン提案二次審査 ▶ テーマと提案のマッチング決定（テーマ賞） ▶ 提案最終審査（公開） ▶ 最優秀賞＋優秀賞発表・表彰

実現化に向けてテーマ賞への継続サポート ▶ 商品化・事業化 ▶ グッドデザイン賞一次審査免除

2023年
4月13日～
6月22日

7月
上旬

9月
上旬

11月

2024年
1月上旬

2月上旬

～2025年
3月31日

再掲

テーマ審査の流れ

企業からの
テーマ審査

テーマ募集 ▶ テーマ審査

2023年
4月13日～
6月22日

7月
上旬

審査委員会による選考（過去開催の様子）

提出書類に基づき、企業の製品開発やビジネスモデル創出支援等に豊富な実績を持つデザイナーや有識者による審査委員会を設置し、面談形式による「テーマ審査会」を開催して審査を行います。

※開催形態は今後の状況を鑑み変更の可能性があります。

テーマ発表後の流れ　9月上旬 テーマ発表・デザイン提案募集開始

企業からの
テーマ審査

デザイナーからの
デザイン提案審査

テーマ募集 ▶ テーマ審査 ▶ テーマ発表＋デザイン提案募集 ▶

2023年
4月13日～
6月22日

7月
上旬

9月
上旬

企業によるテーマプレゼンテーション（過去開催の様子）

応募を検討するデザイナーに向けて、自社の素材や技術の説明を行っていただきます

※今後の状況により、開催内容が変更となる場合があります。

テーマ発表後の流れ

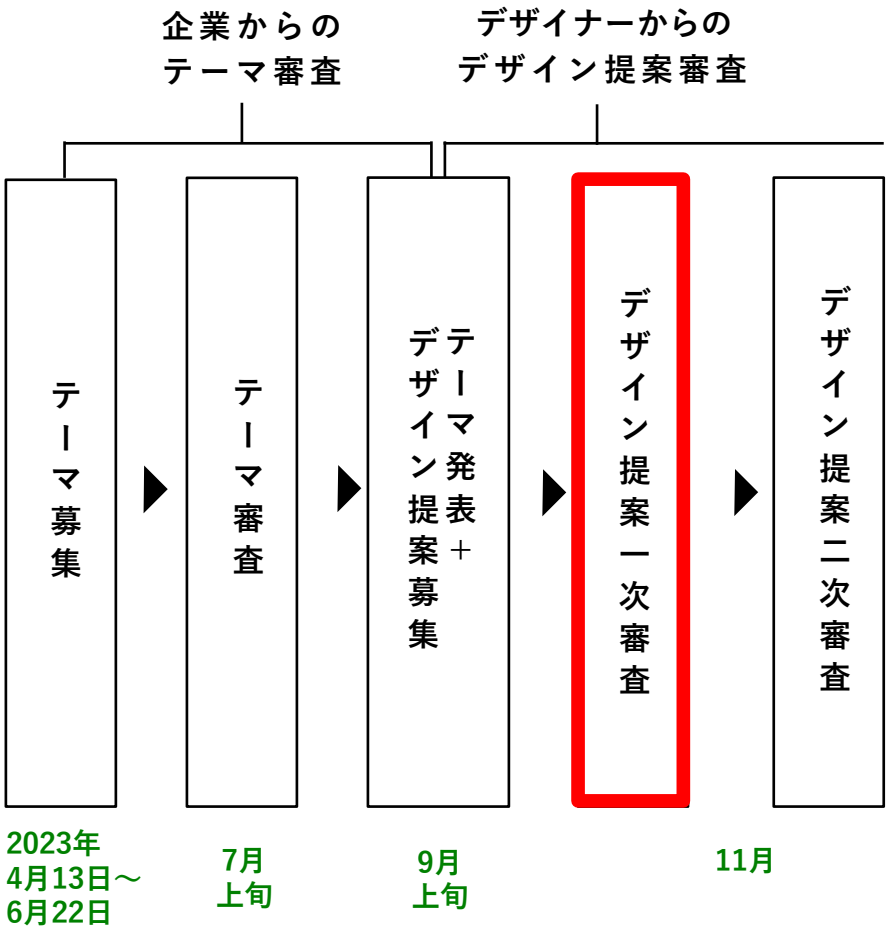
9月中旬～10月上旬 工場見学・企業訪問、テーマ企業取材などの実施

過去開催の様子

応募を検討しているデザイナーで、
より深くテーマの素材・技術について知りたいという方に向けて、
各社への工場見学（会社訪問）を実施します。
現場視察の受け入れにご協力いただきます。

※今後の状況により、開催内容の変更または中止となる場合があります。

11月　デザイン提案 一次審査



審査委員会によって、テーマに対して応募された
デザイン提案を審査。（過去開催の様子）

11月　デザイン提案 二次審査

企業からの
テーマ審査

デザイナーからの
デザイン提案審査

テーマ募集 ▶ テーマ審査 ▶ テーマ発表＋デザイン提案募集 ▶ デザイン提案一次審査 ▶ デザイン提案二次審査

2023年
4月13日～
6月22日

7月
上旬

9月
上旬

11月

（過去開催の様子）

一次審査を通過した提案について、審査委員会とテーマ企業で審査。
マッチングを希望する提案一件（テーマ賞）を選定する。

※今後の状況により、開催内容の変更となる場合があります。

12月～　テーマと提案のマッチング、顔合わせ

企業からの
テーマ審査

デザイナーからの
デザイン提案審査

テーマ募集	テーマ審査	テーマ発表＋デザイン提案募集	デザイン提案一次審査	デザイン提案二次審査	テーマと提案のマッチング決定（テーマ賞）
2023年 4月13日～6月22日	7月 上旬	9月 上旬	11月		2024年 1月上旬

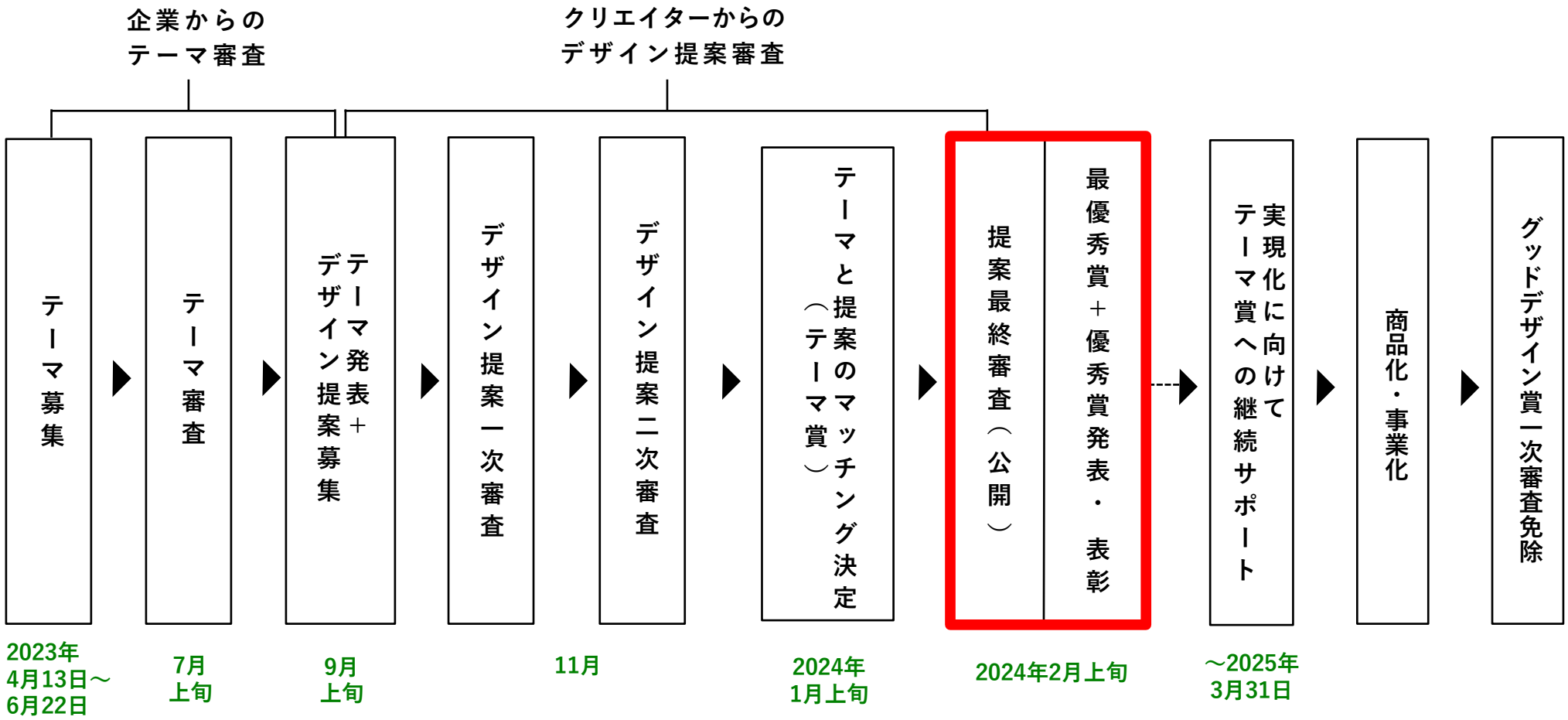
（過去開催の様子）

後日、テーマ企業と提案デザイナーは事務局立ち会いの下、顔あわせを行う。

選んだデザイン提案をブラッシュアップしながら、提案最終審査会まで協業していく。

※今後の状況により、開催内容の変更となる場合があります。

提案最終審査・表彰式


企業からの
テーマ審査
クリエイターからの
デザイン提案審査
テーマ募集
テーマ審査
テーマ発表＋
デザイン提案募集
デザイン提案一次審査
デザイン提案二次審査
テーマと提案のマッチング決定
（テーマ賞）
提案最終審査（公開）
最優秀賞＋優秀賞発表・表彰
実現化に向けて
テーマ賞への継続サポート
商品化・事業化
グッドデザイン賞一次審査免除
2023年
4月13日～
6月22日
7月
上旬
9月
上旬
11月
2024年
1月上旬
2024年2月上旬
～2025年
3月31日

提案最終審査・表彰式

**提案最終審査では、各企業のテーマに対するデザイン提案について、
受賞デザイナー等による公開プレゼンテーション審査を行い、最優秀賞、優秀賞を決定します。**

提案最終審査会後は、次年度終了日（本年度は2025年3月末）まで、実現化に向けサポートします。

過去開催の様子　※今後の状況により、開催内容の変更となる場合があります。

年間を通してセミナーやワークショップを開催

**協業のためのセミナー&ワークショップ・知財・契約レクチャー・広報セミナーなど、
企業とデザイナーとが、デザインをビジネスに活かしていくための勉強会を実施。**

また、各マッチングの進捗に合わせてコンサルティングや相談にも対応しています。

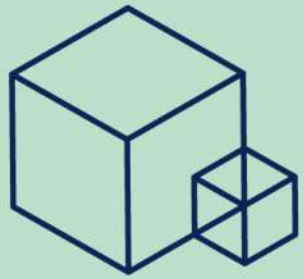
3 応募・受賞メリットについて

東京ビジネスデザインアワード　企業の参加メリット

01 - IDEA
アイデア

デザイナーからの提案により、自社技術の価値を再発見できること

02 - METHOD
メソッド

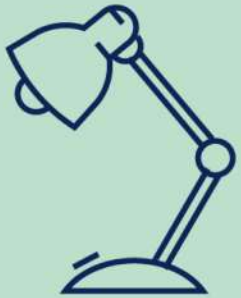


デザイナーとプロジェクトを進めていく中で、ブランド開発の方法やプロセスを習得できること

03 - CHANCE
チャンス

製品化・事業化のチャンスを得られること

04 - ADVICE
アドバイス



製品開発や知財、あるいはバイヤーなど、各方面の専門家から実践的なアドバイスを受けられること

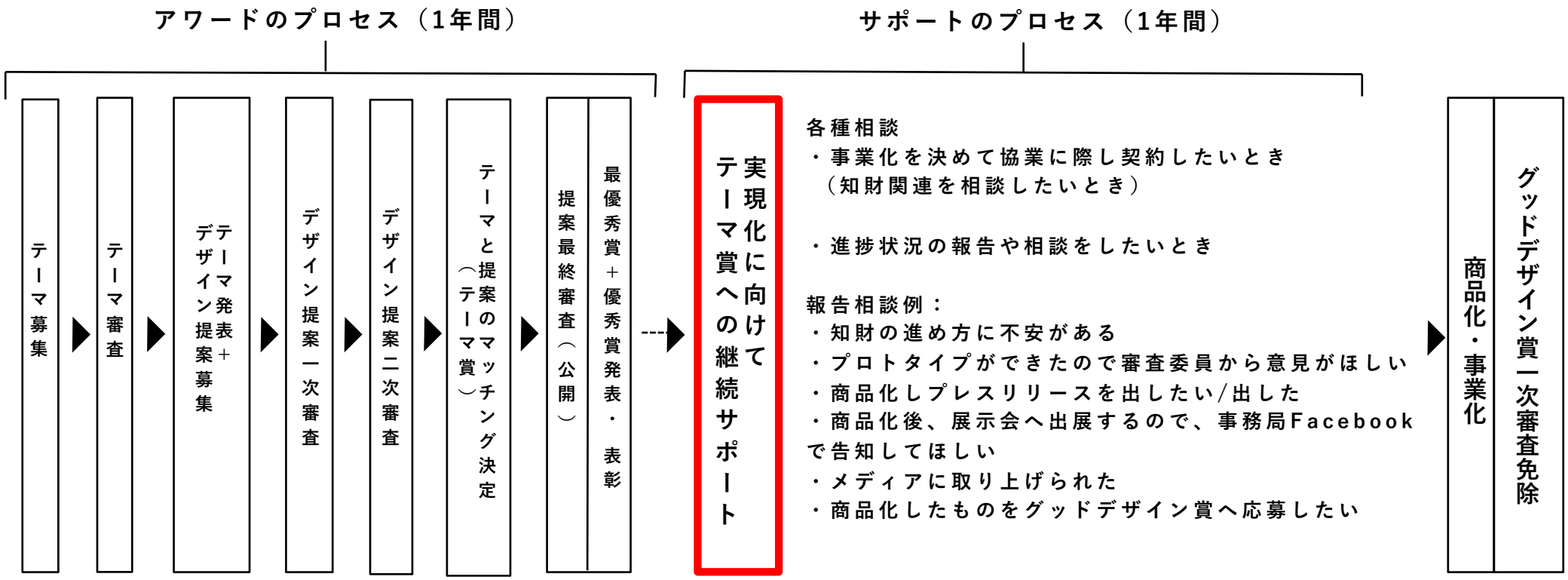
05 - SUPPORT
サポート

アワード終了後も1年間継続して事業化の支援があること

単純な製品の制作だけではなく、ビジネスプラン・方針にも関連し

本格的なデザイン導入のきっかけとなる

2年目のながれ


アワードのプロセス（1年間）
テーマ募集
テーマ審査
テーマ発表＋デザイン提案募集
デザイン提案一次審査
デザイン提案二次審査
テーマと提案のマッチング決定（テーマ賞）
提案最終審査（公開）
最優秀賞＋優秀賞発表・表彰
実現化に向けてテーマ賞への継続サポート
サポートのプロセス（1年間）
各種相談
・事業化を決めて協業に際し契約したいとき
（知財関連を相談したいとき）
・進捗状況の報告や相談をしたいとき
報告相談例：
・知財の進め方に不安がある
・プロトタイプができたので審査委員から意見がほしい
・商品化しプレスリリースを出したい/出した
・商品化後、展示会へ出展するので、事務局Facebookで告知してほしい
・メディアに取り上げられた
・商品化したものをグッドデザイン賞へ応募したい
商品化・事業化
グッドデザイン賞一次審査免除

具体的なメリット・支援内容（2023年度 および 2024年度の2年間にわたる支援）

- 審査の段階から審査委員会がコンサルテーションをおこないビジネスの可能性と実現性を高めます。
- 知的財産、デザイン契約、販路開拓、情報発信など事業スタートに関わることを無料で相談できます。
- テーマ賞に選ばれ、さらに最優秀賞・優秀賞受賞者には企業とデザイナーそれぞれに賞金が贈られます。
- テーマ企業として発表されることにより自社の技術力を広くアピールできる。
  また、自社の技術・素材に対して、未来成長性が期待される提案に幅広く出会えます。
- テーマ企業、テーマ賞受賞者を広く広報・宣伝活動するプレスリリース、web、SNSの発信をします。
- グッドデザイン賞への応募（商品化された受賞提案はグッドデザイン賞の一次審査免除）

参加企業からの声

新規事業への挑戦姿勢が既存のクライアント、協力会社、メインバンクの評価につながり、採用活動にも有利に働いた。

デザイナーと協働することで、自社の技術をどう見せていくか、資料やサンプルの作り方、販売の方法などの発想が非常に勉強になった。

改めて自社のミッションや理念を見直す機会となり、社員全体のモチベーションがあがり、会社としてさらに活気が出た。

製品としてのアイディアにとどまらず、アイディアを生み出す前提に現在の社会背景があること、そしてアイディアが具体化した後の実際の売り方まで含めてご提案を頂き、今までデザイナーに対して描いていたイメージの幅が広がりました。

既存ビジネスからかけ離れた新規ビジネスばかりに意識が向いてしまっており、なかなか実現可能な新規ビジネスを発想することができなかったが、改めて自社の強みを認識し、既存ビジネスの延長線上で新規ビジネスを行うという、実現性のある提案を受ける事ができ、大変良かった。

広報としてたいへん大きな効果があり新規事業に乗り出す大きな契機となった。

自社の可能性や将来性について積極的な話も生まれ、作り手である若い社員のモチベーション向上に繋がった。

アフターコロナに仕事の受注がどうなるのか見えず、とても心配だったが、自社製品の開発を行い、長期的な視点で目標をもつことができた。

各種メディアでの紹介例　- Web

https://www.axismag.jp/tag/tbda

「東京ビジネスデザインアワード　商品化への道のり」
マッチングをおこなった企業×デザイナーの商品化経緯を紹介する記事が
デザイン誌 「AXIS」Web Magazineにて連載中

グッドデザイン賞への応募

［ これまでの受賞例 ］

商品化された受賞提案は「グッドデザイン賞」の一次審査免除

テーマ賞を受賞（マッチング）した企業と デザイナーの協業により、実現化した事例をHPで紹介しています。

これまでに実現した事例は20件以上

ビジネスを加速させる極意は、
「デザイン」にあり。

デザインの力で、
あなたのビジネスがもっと輝く、もっと届く。

東京ビジネス デザインアワード 2023

参加企業募集

自社の技術や素材を
世の中に広めたい

デザインって何？
どう活かせばいいの？

モノには自信があるけど
なぜか売れない…

もっと他の市場に
挑戦してみたい

新しい用途を
開発したい

中小企業の
新しい戦い方って
なんだろう？

他者からの
意外な発想に
出会いたい

下請けから
脱却したい

自社の強みの
活かし方が
わからない

自社の技術を
活かした新事業に
チャレンジしたい

自社製品を
作ってみたい

最優秀賞
50万円！
実現化
実績多数！

あなたの会社で活用を希望する
技術・素材の応募をお待ちしています

2023.4.13-6.22

詳しくは「企業の方へ」ページへ →